

外来診療予定表 (3月)



塩田記念病院だより

Vol.44 2017年3月号

医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ: <http://www.s-fmc.jp>
〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合診療部 (内科・外科 内視鏡等)	午前	塩田総院長 (外科)	井上部長 (呼吸器内科・内科) (予約制)	井上部長 (呼吸器内科・内科) (予約制)	松谷 (内科) 初診受付16:00まで	佐久間 (外科) 第1.3.5	赤松(内科) 第1.3 新野(内科) 第2.4 ※午後休診※
	午後	白銀 (外科) 初診受付16:00まで	外松 (内科) 初診受付16:00まで	—	—	—	—
	午前	君塚 (内科) (予約制)	青木(悠) (外科) (予約制)	★篠崎 (内科) 第1.2.3.4 初診受付16:00まで	鈴木 (外科) 初診受付16:00まで	青木(信) (内科) 第2.4	大木 (肝臓内科・内科) 第2.4
	午後	—	青木(悠) (外科) 受付16:00まで	—	—	—	—
	午前	—	—	—	—	君塚 (内科) (予約制)	—
	午後	高柳 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで	—	★土屋 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで	—	—	—
脳神経外科	午前	足立	—	平井	—	青柳院長	平井 第1.2.4
	午後	佐藤 足立 初診受付16:00まで	—	平井 (予約制)	交代制 (要問合せ) 診療15:00から	青柳院長 髄膜腫・ 神経鞘腫外来	—
整形外科	午前	塩田副院長	—	塩田副院長	—	石井 塩田副院長 第1.3.5	石井 第1.2.4 塩田副院長 第2.4
	午後	—	石井	塩田副院長	塩田副院長 塩田副院長 第1.3.5 (脊椎・脊髄外科外来) 石井 第4	—	—
	午前	—	大伴	立岩 第3 初診受付16:00まで	★大見 第3	吉峰 第2.4	山田 第1.3 蔵本 第2.4
	午後	—	大伴 第2.4 初診受付16:00まで	—	—	金子 第3(予約制) 吉峰 第2.4 初診受付16:00まで	—
循環器内科	午前	中津センター長	大橋	森口 第1 増田 第2.4.5	高木 第1.2.4	中津センター長	森口 第1 高木 第2 中津センター長 第3 大橋 第4 ※午後休診※
	午後	高木 (予約制)	—	—	—	大橋 第1.2.4.5 (予約制)	—
	午前	※予約外の患者様は、担当医師が変更になる場合があります。					—
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	千葉大(交代制)	遠藤名誉院長 第1.2.4.5	千葉大(交代制)	遠藤名誉院長
	午後		遠藤名誉院長 第2.4	—	—	—	—
サイバーナイフ 外来	午前	—	—	宇野	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	平田	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	—	小谷 初診受付16:00まで	—	★スミス 第1.3.5 ★スミス 第1.3.5 原田 第2.4 初診受付16:00まで	★細萱 初診受付16:00まで	帝京大(交代制)
	午後	—	—	—	—	—	—
泌尿器科	午前	—	—	—	飯ヶ谷 第1.2.3.5 初診受付16:00まで	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	—	河原 受付14:30から	—	—	—	—

★印は女性の医師です。◎赤字は変更となった診療です。◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。

受付時間:(月~金)8:30~11:30/13:30~16:30 (土)8:30~11:30

予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月~金)8:30~17:00

※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。

病気の豆知識~脳梗塞および一過性脳虚血発作について~

脳梗塞とは、脳を栄養する動脈が狭窄あるいは閉塞することにより、脳細胞が障害を受ける病気です。一度脳梗塞になってしまうと、手足の麻痺や呂律の回りにくさなどが残ってしまい、介護が必要になる場合が多い疾患です。

一過性脳虚血発作とは、脳梗塞の一手前の疾患と呼べる病気です。その名の通り、一過性に脳に血液が流れなくなり、手足の脱力や呂律の回りにくさなどの症状が出現して、しばらく経つと改善するといったものです。この一過性脳虚血発作という病気は、脳梗塞と同じ病態であることが明らかになっており、適切に治療せず、症状が改善したからと様子を見ていた場合、3ヶ月後に約2割の方が脳梗塞を発症したという結果も出ています。

脳梗塞の場合、MRI検査を行うと高い精度で病気の診断に至ります。MRIで明らかな脳梗塞がみられず、疑わしい神経症状がみられた場合は、一過性脳虚血発作の診断になることがあり、脳梗塞に準じた治療が必要となります。

脳梗塞の治療は主に点滴や内服薬になりますが、発症から間もない超急性期では、血栓を溶かす特別な薬剤を使用出来る場合や、カテーテルを用いた血管内治療が可能な場合があります。治療開始が早いほど症状の改善が見込め、介護が必要になる可能性が減らせます。

顔の片側の麻痺や片方の手足の麻痺、呂律の回りにくさ、言葉が出ないなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。当院には最新のMRIがあり、精密検査が可能な環境が整っております。気になる症状がみられた場合は、ぜひ早めに受診して下さいと思います。



脳神経外科 医師
佐藤 陽人

病院からのお知らせ

■循環器内科 増田医師の外来が始まります

1月より当院に着任しました、循環器内科 増田太一 医師の外来診療が3月8日より始まります。症状等お悩みの際は、お気軽にご相談ください。

診療日: 毎週水曜日 午前 受付時間: 8:30~11:30

※3月15日は休診となります。
※3月1日は森口医師の診療を行います。
※森口先生が3月末で退職となり、それに伴い、外来診療予定に変更があります。



いきいき教室のご案内

「呼吸器疾患について」をテーマに行ってまいりましたいきいき教室も今月で最終回です。最後となる今回は、薬剤師と理学療法士による講演です。また、今回を持ちましていきいき教室は、一旦お休みとさせていただきます。長らくのご愛顧ありがとうございました。

3月22日(水)「治療薬とその使い方」 薬剤科 小川 雄大・足立 かおり
「呼吸器疾患のリハビリテーション」

リハビリテーション科 高木 薫・渡邊 準也

【時間】14:30~15:30

【会場】塩田記念病院 2階カフェスペース

申込不要
参加無料

栄養士のひとりごと

梅の花をめでながら、春が待ち遠しい時期となりました。3月の行事といえば桃の節句。でも千葉県で桃の節句のハレの食事はなかなか見つかりませんでした。ただ、桃の節句に欠かせない蛤のお吸い物、九十九里が産地として有名です。というわけで、今回は蛤と桃の節句についてお話しします。

まず桃の節句について。3月3日で女の子の健やかな成長を願う節句です。「上巳の節句(じょうしのせつく)」ともいわれています。期限は古来中国の上巳節。上巳とは3月の最初の巳の日という意味で、この日に中国では川で身を清め、不浄を祓ったあとに宴を催す習慣があり、これが平安時代に日本に伝わり、吸虫の人形遊びと結びつき、流し雛へと発展したと言われています。現在のように雛壇にしてかがるようになったのは江戸時代初期と言われています。

そしてひな祭りの料理はちらし寿司と蛤のお吸い物。蛤は女の子の美德と貞節を意味するもので、ちらし寿司のレンコンやエビは縁起物としてお祝いにはよく使われる食材です。

お雛様を飾る時期ですが、雨水の日に飾ると良縁に恵まれるといわれています。蛤は貝合わせに使われた貝で、蛤は左右の貝殻が同じでないことと合わさらないことから、相性の良い相手が見つかりますよという願いが込められているとのこと。

栄養価としてはビタミンB群、ビタミンE、タウリン、カルシウム、鉄分、亜鉛などを豊富に含みます。あさりやシジミよりもコレステロールが少ないこと、1個当たりが大きいので、栄養素を効率的に摂取できます。寒い冬の間の身体の疲れを解消するためにも、多くの栄養素を含んだ蛤をぜひ味わってください。

最後に行事として有名なのは勝浦のビックひな祭り。今年も2月末から3月初めに開催されます。市内各所に約30,000体のひな人形が飾られ、街はひな祭り一色になり、神社の階段を雛壇に見立てて飾られる1,800体のひな人形も夕暮れ時にはライトアップされるとか。きっと華やかな光景でしょうね。

来月はもう桜の季節、もう春はそこまで来ています。次回もお楽しみに。

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華



参考：koyomigyouji/com ・勝浦市HP

ノロウイルス感染予防について

冬も終わりに近づき、もうすぐ春ですね。でも安心は出来ません。ノロウイルスの脅威は終わりません。みなさん、ノロウイルスについて知っていますか？今回はノロウイルスについてお話しします。

ノロウイルス	
発症時期	年間通して（特に冬季に多発・流行）
潜伏期間	1～2日
主症状	●激しい下痢 ●激しい嘔吐 ●吐き気 ●腹痛 ●発熱（軽度が多い） ●頭痛 ●悪寒 ●筋痛 ●倦怠感 など

●ノロウイルス知っていますか？

感染すると突発的に激しい下痢や嘔吐・腹痛・発熱を起こします。通常2～3日で軽快しますが、高齢者・幼児・病弱な方や基礎疾患がある方では下痢による脱水、嘔吐による窒息、誤嚥性肺炎などにより死亡することもある怖い病気です。伝播力・感染力が非常に強く、わずかな接種（ウイルス10～100個程度）で感染します。また、乾燥や熱にも強いうえに自然環境下でも長期生存が可能です。そのため感染拡大しやすいので注意が必要です。一度かかっても何度も感染しますので覚えておきましょう。

●どのように感染するのか知っていますか？

経口感染

- ・生や十分に加熱していないウイルスに汚染された食品（カキなどの二枚貝が代表的な原因食品）
- ・調理した人の手指や調理器具を介して汚染された非加熱食品（サラダ、サンドイッチなど）

接触感染

- ・感染した人の便や吐物に触れた手指を介する
- ・感染した人の手指や感染した人が触れた衣服、器具、環境等への接触による

飛沫感染

- ・患者の便や吐物が飛び散り、その飛沫を吸い込む
- ・便や吐物を不用意に始末したときに発生した飛沫を吸い込む

空気感染（※正確な空気感染ではありません）

- ・便や吐物の処理が不十分な場合、乾燥し塵埃として舞い上がり吸い込んで感染する。

●感染拡大予防のポイント

手洗い・手指消毒・うがいの徹底が重要です！

手洗い後にノロウイルスに効くように調整してある手指消毒アルコールが有効です。便や吐物には大量のウイルスが含まれていますので、処理する際は**マスク・手袋・エプロン**の着用が基本です。その際の消毒には次亜塩素酸ナトリウム（0.1%に調整）が必要です。その他に、食品の十分な加熱や調理台・調理器具・環境（トイレ・風呂・ドアノブなど）の清掃・消毒。便座は閉じて流すなどの心がけが感染拡大予防のポイントです。



←当院では
ノロウイルスにも効く
手指消毒アルコールを
個人持ちにし、
感染対策に力を入れ
取り組んでいます(^-^)

●便や吐物の処理のポイント

- ①すばやく適切に処理する
- ②乾燥させない
- ③消毒する

このように感染拡大予防には適切な処理が必要になってきます。

☆病院内で吐いてしまった、便でトイレを汚してしまった場合、すぐ近くのスタッフにお知らせください。

●もし感染してしまったら...？

健康な成人の方であれば病院を受診する必要はありません。脱水に気を付け、スポーツドリンクなどをこまめに飲むようにします。下痢止めはウイルスを排除できなくなるので使用しない方がいいです。

最後に、病院では感染予防が必須です。下痢・嘔吐・発熱がある方は受付にお申し出ください。また、発熱・かぜ症状のある方・15歳以下のご面会をご遠慮頂いておりますのでご了承ください。感染しないように、させないように御協力をお願いいたします。

わからないことがありましたらお近くのスタッフまでお気軽にお聞きください。

感染対策委員 野田 直

医療公開講座のご報告

1月28日(土)に当院で第20回医療公開講座を開催しました。今回は、医療公開講座初の外科医による講演でした。「外科医が教える身近な病気」と題して外科 塩田 吉宣 総院長からは、ガンに関してのお話、外科 白銀 大二 医師からは、入院が必要な消化器病についてのお話でした。

寒さが厳しいなか、約90名の方々に参加してもらいました。次回の医療公開講座もお楽しみにお待ち下さい。



講演中の塩田 吉宣 総院長



講演中の白銀 大二 医師



質問に答える白銀医師



個別相談を受ける塩田総院長



個別相談を受ける白銀医師



血糖値無料測定の様子